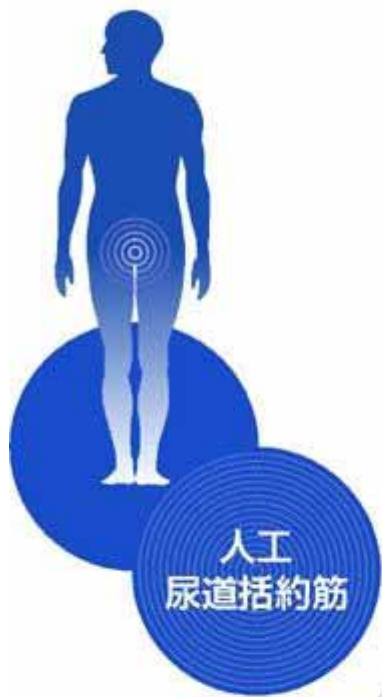


人工尿道括約筋

失禁改善 外出も気軽に

前立腺がんになった男性（65）は、手術で前立腺を摘出した後、1日800ミリ・リットルの尿が漏れる重い尿失禁に悩まされてきた。おむつが外せず、外出もままならないため、東北大病院で昨年春、尿を漏らさないようにする人工括約筋の埋め込み手術を受けた。くしゃみをした際に尿がわずかに漏れる程度に改善、旅行にも気軽に出かけられるようになった。（科学部 本間雅江）



重度の尿失禁患者

- 普通に歩いているにも尿漏れする
- おむつが手放せない
- においが気になる



人工尿道括約筋を埋め込むと...

- ハッドをあてる程度の尿漏れに改善

ただし、課題も...

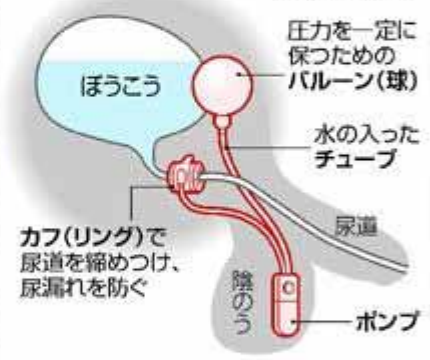
- ◎ 手術が高額
- ◎ 感染症を発症した場合は、再手術も



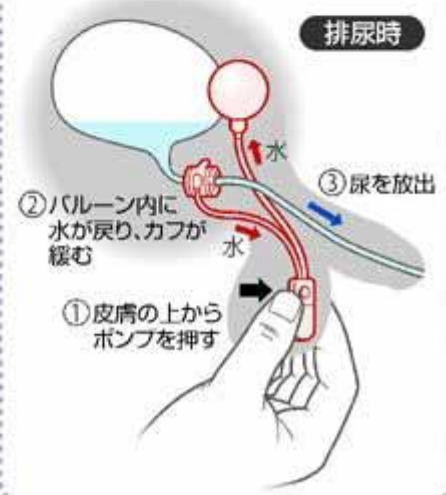
埋め込み手術から約1か月半後より作動可能

人工尿道括約筋のしくみ

通常時



排尿時



デザイン 藤三屋加代子

前立腺は、男性のぼうこうの近くにある臓器。がんの治療で摘出すると、前立腺に隣接する尿道括約筋が傷つくことがある。尿道括約筋は尿道を締め、尿漏れを防ぐ筋肉で、傷つくと尿が漏れる。

漏れる尿量が1日に100ミリ・リットルを超える重い尿失禁は、年間約2万件行われている前立腺の摘出手術の1%で起きているとみられる。東北大病院副院長（泌尿器科）の荒井陽一さんは「重い尿失禁には、人工括約筋の埋め込み手術しか、有効な治療法はない」と説明する。

人工括約筋は合成樹脂製で、尿道を締めたり緩めたりするカフと呼ばれる小さなリングや、直径約3・5センチの球などで構成され、腹部に埋め込む。

リングの締め付けを調節するポンプ（長さ約2センチ）を陰のう内に埋め込み、水の入ったチューブでリングと結ぶ。

リングは通常、尿漏れを防ぐために尿道を締めている。排尿時は、ポンプのスイッチを皮膚の上から押すと、リングに入っていた水が球へ排出されて締め付けが緩み、尿が放出される仕組みだ。スイッチを押すのをやめると、緩んだリングは水圧で、2～3分かけて元の尿道を締める状態に戻る。

埋め込み手術にかかるのは約2時間だが、実際に人工括約筋を使えるのは、手術の傷が癒えた1か月半ほど後からという。

国内では1994年から約100件の手術が行われ、9割以上の患者が「日常生活に困らない程度まで尿漏れが軽くなった」としている。

ただ、課題もある。米国では年間4500件も行われている一般的な手術だが、国内では手術に熟練した医師が少ない。また、埋め込み手術の際に菌などに感染する合併症が約20%に発生、人工括約筋が作動しない例も5%起きている。

人工括約筋のメーカーが器具を改良したことから、国の認可が改めて必要となった。このため、各病院は現在、手術を一時中断し、今後の手術希望や治療の相談のみを受け付けている。

治療が再開された場合、一部保険がきく先進医療に指定されている病院もあるが、多くの病院では保険がきかず、全額自己負担で約150万円かかる。

荒井さんは「重い尿失禁で、おむつ代など経済的にも精神的にもつらい人は多いはず。器具に対する国の認可が早くおりて保険適用され、治療を普及させたい」と話す。

人工尿道括約筋治療の相談に応じる主な病院	
東北大（仙台市）	（電）022・717・7000
秋田大（秋田市）	（電）018・834・1111
北里大（神奈川県相模原市）	（電）042・778・8111
関西医大枚方病院（大阪府枚方市）	（電）072・804・0101
島根大（島根県出雲市）	（電）0853・23・2111
原三信病院（福岡市）	（電）092・291・3434

（2008年6月27日読売新聞）